

奥州市のI-LC実現に向けた取組みについて

奥州市総務企画部I-LC推進室長 千葉典弘



I-LC計画と奥州市のまちづくり政策

当市では、国際リニアコライダー（I-LC）の北上山地における実現が、今後のまちづくりにおいて重要であると考えており、長期的な視点で実現に向けた活動に取り組んでおります。

当市が、地元の自治体として取り組んでいるI-LC実現に向けた取組み、関係団体と連携した取組み、そしてまちづくりの将来を担っていく子どもたちへ向けた取組みについてご紹介いたします。

奥州市の取組み

当市では、I-LCを担当する部署として総務企画部内にI-LC推進室を設置し、平成28年4月に策定した「奥州市I-LCまちづくりビジョン」により、I-LC実現に向けた取組みの方針を明らかにし、ビジョンに基づいた活動を推進しております。

加えて「第2次奥州市総合計画」の中で、

めざすべき都市像を実現する2つの戦略プロジェクトの1つに「世界へ発信するまちづくりプロジェクト（I-LCプロジェクト）」を掲げており、現在、策定中の後期基本計画においても戦略プロジェクトに位置づけ、I-LC実現が今後の市勢発展にあたり非常に重要な意味を持っていると捉えています。

現在、I-LCに関してはI-LC国際推進チームによつて実現に向けた活動が進められており、今年6月に公表された提案書を精査するため文部科学省が有識者会議を再開するなど、国内における議論が更に進められようとしています。

国外においては、欧州素粒子物理戦略により「タイムリーな実現」への欧州の協力姿勢が示されていること、米国の新政権発足後も日本でのI-LC実現が公式に支持されている状況です。

一方、今年2月の政府予算委員会第四分科会にて、I-LC実現に係る政府の見解が示され、クリアしなければならぬ課題も指摘されています。

当市としては、北上山地でのI-LC実現に向けた重要な局面が続いていると捉え、今後の議論を慎重に注視しているところですが、

・情報発信による理解促進

建設候補地の自治体として、I-LC実現に向けた活動としては、市民を対象としたI-LCの理解促進が最重要であると考えています。市民への理解促進こそ、市のまちづくり政策の推進に直結するものだからです。

市民への理解促進を図るうえで、情報発信は重要な取組みの一つであると考え、当市が特に力を入れ、そして長く継続している活動が、市広報誌に毎月掲載しているI-LC情報コーナー「希望のひかり」となります。

平成24年4月号から隔月でスタートし、平成25年4月以降は毎月掲載に拡充し、現在に至ります。I-LCに関連する情報を様々な角度から解説し、市民の皆様へお届けしています。また、平成25年4月より「奥州市I-LCウェブサイト」も開設し、ウェブ上でも情報を発信しております。

今後も、市民へ情報を届けI-LC実現への



水沢江刺駅南交流プラザ内ILC展示コーナー

一員として、ILC受入に係る地元地域の具体案件の検討にも参加しており、ILC実現に向けた課題解決に積極的に貢献していきたいと考えられています。

理解を更に得ていくため、様々な取組みを模索していきたいと考えています。

関係団体と連携した取組み

奥州市では、平成24年度に市長を会長とした奥州市ILC推進連絡協議会を設立し活動しています。市内の企業団体等を会員として活動しているもので、会員同士が関係性を持って活動することで協力体制が生まれ、結果として、市全体でのILCの理解促進および活動支援の輪の更なる広がりにつながっています。

また、奥州市は令和2年8月に設立された東北ILC事業推進センターにも加盟し、会員の

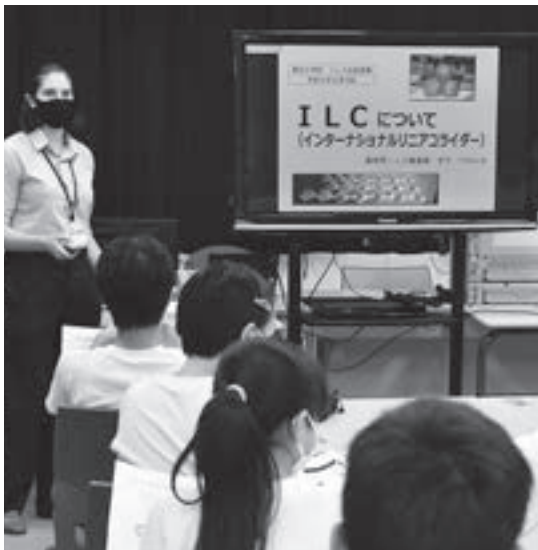
まちづくりの将来を担う子どもたちへ向けて

ILCが実現すると、地域に外国人研究者やその家族が移住定住することで、多文化が共生する国際色の強い地域社会が実現したり、ILCを起点とする産業集積や新産業の創出により地域経済が活発化したりと、地域の将来に大きな発展的変化をもたらすことが期待されています。同時に、その変化は今の児童生徒の将来の仕事や生活にも大きな影響を与えることとなります。

当市では、発展していく将来の地域社会の中で奥州市出身の人材が大きく活躍することを期待しており、今の児童生徒がILCを知り、併せて将来の仕事や生活を考え始めるきっかけを持つことが大事であると考えています。

・ILC出前授業

市内の小中学校を対象として、ILCにつ



奥州市立黒石小学校でのILC出前授業の様子

いて解説する出前授業を実施しております。中学校は全校、小学校は希望する学校で開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度は実施を見送り、今年度も希望する学校への実施としています。

出前授業では、ILC計画の説明はもとより、子ども達が科学への関心を持てるよう、また、将来どういった仕事に就きたいかなど、自分自身の未来を考える機会にしてみらえることを意識しています。

より多くの児童生徒へ出前授業を実施し、ILCが実現した将来の地域社会で奥州市出身の若者が一人でも多く活躍してもらえよう、今後も取り組んでまいります。

おわりに

新型コロナウイルス感染症により、市民の生活も含めて様々な影響が生じていますが、ILC計画の重要性が変わることはないと考えています。むしろ、基礎科学の進歩こそこの困難な状況を打破するため一層必要とされるものであります。

ILCが持つ多岐に渡る可能性は、今後の日本や国際社会に必要とされる重要なものであり、ひいては、当市の今後のまちづくりや持続可能な社会の実現において重要な役割を担っていることを意識しながら、ILC実現に向けた活動を推進してまいりますので、引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願いします。